

～ 令和6年度活動報告・佐渡文化財団だより ～

島に残る文化・芸能を、次の世代へ継承するために ～

昨年は、島民の長年の悲願であった「佐渡島の金山」が国内21件目の世界文化遺産に登録された記念すべき年となりました。登録された金山の構成資産をはじめ、現在まで残る佐渡の文化・芸能なども世界的な評価を受けたことを喜ぶ一方で、次世代へと継承していく責務を強く認識しているところです。

日常生活や産業と深く関わっている佐渡の文化や芸能は、少子高齢化社会が進み人口も5万人をきり、担い手や指導者の不足により保存会の活動に影響を与えています。

当財団では、そのような現状をしっかりと把握し民間活力を活かした取組を展開して、地域住民と一体となった地域づくりを進めていくことが佐渡の豊かな文化の保存・継承、そして活用につなげていくことが役割だと役員・職員一同、認識しています。

市民、関係機関・団体の皆様には、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和6年度の主な活動を紹介します。

- ・ 設立年月日：2018（平成30）年7月2日
- ・ 事務所：佐渡市役所畑野行政サービスセンター内（佐渡市畑野甲533番地）
- ・ 組織：評議員6名、理事5名、監事2名、職員4名（令和7年3月末現在）
- ・ 令和6年度実績：定時評議員会1回開催、定時理事会3回開催、臨時理事会3回開催

文化団体、芸能保存会の実態調査と上演の場の創出

佐渡の芸能団体や保存会が活躍できる上演の場を創出しました。

島内では、8月にアース・セレブレーション2024の宿根木公会堂で「小木芸能鑑賞」を開催しました。また、佐渡人形芝居保存会と共催で11月に「佐渡人形芝居保存会定期公演」、佐渡民謡活性化実行委員会と共催で「第7回佐渡民謡の祝祭」を実施しました。その他、島根県・隠岐の島や東京都・豊島区などの民俗芸能イベントに鬼太鼓を派遣し多くの方々に佐渡の芸能を堪能していただきました。

佐渡の保存会、文化団体の実態を把握するための調査も進めています。



▲第7回佐渡民謡の祝祭



▲EC2024宿根木公会堂にて、ちょぼくり



▲佐渡人形芝居保存会定期公演、新青座



▲豊島区にて、和泉青年会



▲佐渡芸能と伝統食に触れてみる一日



▲佐渡驚流狂言研究会が山口市で上演

令和6年度の主な実績

■アース・セレブレーション2024「小木芸能鑑賞at宿根木公演」

日時：8月18日(日) 会場：宿根木公会堂 出演団体 3団体(ちとちんとん、ちょぼくり、小木さざ波会) 入場者 32名

■佐渡芸能と伝統食に触れてみる一日

日時：9月7日(土) 会場：あいぽーと佐渡 4つの芸能ワークショップ 参加者39名
4団体による無料公演 来場者 約350名 伝統食「イカ汁」の提供

■隠岐乃国伝統芸能祭

日時：9月22日(日) 会場：隠岐島文化会館(島根県) 出演団体：佐渡舟下鬼太鼓保存会

■民俗芸能inとしま2024

日時：10月26日(土) 会場：グローバルリングシアター(東京都豊島区)
出演団体：和泉青年会

■佐渡人形保存会定期公演の支援

日時：11月10日(日) 会場：アミューズメント佐渡 出演団体 8団体 入場者約80名

■第7回佐渡民謡の祝祭(共催)

日時：11月17日(日) 会場：アミューズメント佐渡 出演団体 19団体 入場者 約450名

■文化団体の現状実態把握調査 通年

子どもや市民が、文化に触れる機会を提供

当財団では、子どもたちや市民が佐渡の文化・芸能等に触れる機会を提供したいと、市内で活躍されている講師の方々を学校へ派遣したり、財団職員が授業で講師を務めたりして、芸能や工芸などの普及活動に努めています。三味線などの和楽器等も貸出しています。

わら細工の講習会やわらじのワークショップを開催して、大勢の方に参加していただきました。また、おけさ笠の会の会員を講師に迎え、「おけさ笠編込み講習会」を2回開催しました。佐渡民謡に欠かせない「おけさ笠」ですが、編める方が少なくなっているのが課題です。今回の講習会で学んだ参加者が、講習会后、「おけさ笠の会」に入会して会員が増えたという報告を受けております。

この他、佐渡市社会福祉協議会と連携し、わら細工を通した「就労支援事業」に取り組みました。対象者は、わら細工商品を自ら製作できるようになり、その後はワークショップ等の補助にあたるなど活動の幅を広げています。

(一社)日本茅葺き文化協会と共催で「第12回茅葺きフォーラム佐渡大会」を新潟県文化資源活用支援事業補助金を活用して開催しました。全国の若い茅葺き関係者約130名が、アミューズメント佐渡に集まり、能舞台など貴重な茅葺き建造物を保存していくための意見交換や、全国の先進事例などの紹介がありました。



▲総合高校での佐渡民謡の授業



▲おけさ笠編込み講習会の様子



▲茅葺きフォーラム佐渡大会

県内で継承する村歌舞伎が、佐渡に集結し公演！

3月16日(日)に「片野尾歌舞伎公演」を開催し、公演を楽しみした400名を超える来場者がアミュゼメント佐渡に駆けつけました。

野浦春駒保存会による「春駒」から華々しく始まり、県内で片野尾と共に村歌舞伎を継承している「塩沢歌舞伎保存会」が登場し、創作歌舞伎の「ます釣り」を上演しました。また、サプライズゲストとして、「日本駄右衛門」に扮した佐渡市教育委員会の香遠教育長、前浜中学校の生徒2名が登場するとさらに会場は盛り上がりしました。

最後は、片野尾歌舞伎保存会による『絵本太功記十段目 尼ヶ崎庵室の場』の上演です。集落のお手製の舞台の上で、役者たちは、この日のために稽古してきた成果を思う存分発揮し、悲しい場面では切なさを繊細に演じ涙を誘うなど、集落センターでの上演とは一味違うホールでの公演に、訪れた方々も満足しているようでした。



■佐渡市地域クラブ、文化活動にも多くの参加者！

令和6年度の地域クラブ活動には、個々のスキルアップや経験を積む「スキップ型」には245名、楽しく様々な活動に取り組む「エンジョイ型」には延べ264名の子どもたちが参加しました。参加者や保護者からは「普段しない裂織がとても楽しかった」、「子どもたちが佐渡の伝統に触れる機会ができて良かった。」など感想がありました。令和7年度は、月3回の実施を予定していますので、多くの子どもたちの参加を待っています。



佐渡の文化・芸能を支援する、賛助会員を募集しています!!

▼財団HP賛助会員・寄付

佐渡文化財団では、研究・調査、文化・芸能の普及活動等をご支援いただける賛助会員を募集しています。

賛助会員に申し込んでいただいた方には特典として、ニュースレターの送付をはじめ、メール等での情報提供を行っています。

会費は個人1口2,000円、団体・法人1口5,000円です。何口でも、お申し込みいただけます。ご賛同いただける方のご支援をお願いいたします。



佐渡文化財団の活動、和楽器貸出、通信販売など詳しくはコチラから

